

サウンドイングリッシュ for kids

英語も子育ても 親子で歌えばうまくいく！

～CD かけ流しの「危険」と「歌」だけが持つ10のメリット～

はじめに

CDなどのかけ流しは、バイリンガル子育てにおいて必須の取り組みです。

でも、ただ CD をかけ流すだけでは、子供に本当に**使える英語力**を身につけさせてあげることはできません。

それどころか、CD や YouTube などの**機械音**ばかり長時間聞かせることは、かえって、子供の**言葉の習得**や**心の発達**に**悪影響**を及ぼす危険もあるのです。

子供が誰よりも大好きなママ・パパの声で、質の良いインプットとアウトプットができる環境を作ってあげたい…。

でも、英語で語りかけるのはハードルが高いし、英語絵本も読み方がよくわからない…。

そんなママ・パパにおすすめるのが、何と云っても「**歌**」です。

歌は、お子さんの脳と心を育てる「良質な音」を聞かせてあげながら、

ママ・パパ自身も読み聞かせや語りかけまで上手になってしまう、まさにオールインワンの最強ツールなのです。

今日は、そんな「かけ流しの落とし穴」と「歌だけが持つ10のメリット」について、お話ししていこうと思います。

【なぜ CD や DVD をかけ流すだけではダメなの？】

多くの幼児向け英語教材においては、

「CD をかけ流すだけでバイリンガルになる！」

「DVD の中のお友達と楽しく遊ぶだけで英語が身につく！」

といったことが言われていますよね。

そんな夢のようなことがあったら、どんなにいいだろう…

私もずっとそう思ってきましたが、残念ながら、CD や DVD をかけ流すだけでは子供に「使える英語」を身につけさせてあげることはいけないのです。

この点について、ワシントン大学のパトリシア・クール教授による、

ある有名な実験があります。



両親ともに英語を話し、英語しか知らない生後10か月の赤ちゃんに、初めて中国語を聞かせるという実験を行いました。

ある赤ちゃんには、中国人の先生がおうちに来て、話しかけたり、絵本の読み聞かせをしたり、**対面でのやり取り**を行いました。

別の赤ちゃんには、同じ内容の**CDの音声だけ**を聞かせました。

また別の赤ちゃんには、同じ内容の**映像だけ**を見せました。

そのセッションを12回繰り返した後、赤ちゃんたちの中国語への理解度を計ってみたところ、対面でやり取りした赤ちゃんは、中国人の赤ちゃんと同じくらい、中国語に反応したり理解を示したりしました。

これに対し、CDを聞かせるだけ、映像を見せるだけの赤ちゃんについては、全く中国語に反応せず、理解している様子も見られなかったそうです。

つまり、CDやDVDをかけ流すだけでは、残念ながら言葉を身につけることはできない、ということが証明されたわけです。

【CDのかけ流し過ぎが子供の才能をつぶすって本当！？】

さらに、CDやDVDなどの機械音ばかり長時間聞かせることは、子供の言葉の習得や心の発達に悪影響を及ぼす危険があることも指摘されています。

アメリカの全米科学振興協会による「騒音や雑音が乳幼児に与える影響」に関する研究結果によると、大人と子供とでは音の認識の仕方が違い、子供は、人の声も雑音も同じレベルのノイズとして認識するのだそうです。

なので、あまり長い時間CDやテレビなどの機械音にさらされてき

た赤ちゃんは、ママの声に対しても反応が鈍くなってしまおうという結果もあるのです。

今、バイリンガル子育てにとっても熱心で、「赤ちゃんの時から1日5、6時間もCDをかけ流しています！」というママ・パパも増えていますが、実は、それはとても危険なことだったんですね。

何より、子供がママやパパの声に反応してくれなくなるなんて…悲しすぎますよね。

【じゃあ、ママ・パパは一体どうしたらいいの？】

でも、そうかと言って、CDやDVDのかけ流しが全く無意味なのかというと、そんなことは決してありません。

日常的に英語を耳にする機会の少ない日本において、英語の音や文法的なリズムを脳に刻み込むためにも、かけ流しはとても重要です。

ただ、それだけでは、無意識の倉庫の中に情報がしまい込まれていくだけであり、英語を意識的に使えるようにするには、身近な人からの

働きかけが不可欠なのです。

ある研究によると、人というのは、少なくとも2歳くらいになるまでの間は、「生身の人間からしか学ぶことができない」とも言われています。

では、身近な人の代表であるママ・パパは、お子さんにどんな働きかけをしてあげたらよいのでしょうか？

もちろん、絵本の読み聞かせ、英語で語りかけなど、色々あるとは思いますが、その中でも私が一番おすすめするのは、やはり「歌」です。

というのも、ママ・パパが子供に歌を歌ってあげること、親子が一緒に歌を歌うことには、次のように、子供にとっても大人にとっても、**たくさんのメリットがある**からです。

【子供にとっての**5つのメリット**】

1、子供は歌が好き

子供はみんな、なぜか歌が好きですよ。

小さな赤ちゃんでも、歌を聞いたら、足をピョンピョンさせたり、お尻をフリフリさせたりします。

それは、子供は大人と違って右脳が活発に働いているため、歌のようにリズムがあるものに、すごく敏感に反応するからなんです。

なので、**リズムに乗せて英語をインプット・アウトプットできる「歌」**は、子供にとって何より良い素材となります。

2、英語のリズムをわかりやすく伝えられる

英語の歌というのは、英語という言葉がもともと持っている、強弱や、高低、音のつながりといった「リズム」を、かなり正確に表していると言われていています。

歌からメロディだけ外せば、ほぼ会話ができてしまうくらいです。

なので、英語の歌にたくさん触れることによって、**英語という言葉のリズムを、わかりやすく伝えてあげることができます。**

ちなみに、英語のリズムが身につくと、英語が聞き取れる、正しく発音できるのはもちろん、読む力、書く力、話す力をアップさせることにもつながるんですよ。

3、効果的にアウトプットへつなげられる

私たちの脳の中には、英語をインプットする部分とアウトプットする部分が別々にあり、その橋渡しをする部分を鍛えてあげると、アウトプットにつながりやすいと言われています。

そして、その橋渡しの部分を鍛える方法として効果的なのが、

☆歌やダンスなどリズムあるものに触れること

☆聞いたものをそのまま口に出す、見たものをそのまま真似して体を動かすというように、刺激を受けてその通り反応すること

です。

歌は、聞いているうちに、リズムに乗って自然に覚えて、自然に口か

ら出てくるので、**アウトプットの力を効果的に鍛えることができる**のです。

4、EQ（心の知能指数）がアップする

これは、後ほど詳しくお話ししますが、親子と一緒に歌を歌うと、**EQが10倍近く高くなる**と言われています。

5、子供の体や心にも良い効果がある

さらに、歌によってアップするのは、英語力や EQ だけではなく、子供の体や心にとっても、**たくさんのメリット**があるんです。

☆記憶力がアップする

歌を歌うということは、歌詞やリズム、メロディなどを覚え、それを思い出しながらアウトプットすることなので、**脳が活性化されて、記憶力を鍛える**ことにもつながります。

☆ストレスを緩和させる

大きく息を吸って歌うことは、自律神経を整えて気持ちをリラックスさせてくれますし、声を出すことは、それだけでストレスの発散にもなりますよね。

☆体力をアップさせる

歌（特に英語の歌）を歌うには息をたくさん使うので、肺活量がアップし、横隔膜がよく動くことで内蔵の血流も良くなります。

そのため、新陳代謝が活発になったり、免疫力をアップさせたりすることにもつながります。

また、日常的に歌うことで、自然と鼻呼吸をする習慣がつくので、風邪予防や虫歯予防にもなったりするんですよ。

☆言葉の練習になる

歌は、覚えやすく、自然に口から発しやすいので、話をするのが苦手な子でも、歌うことで口や顔の筋肉が鍛えられ、言葉を発することに自信がつき、だんだんと自分の考えを言葉で表現できるようになっていきます。

☆感受性が育つ

これは、EQがアップすることと近いかもしれませんが、歌を歌うことを通じて、その歌の持つ雰囲気や、声に表れる歌手の気持ちなどにも触れることができるので、物事を感じ取り、考える力を養うことにもつながります。

「5つのメリット」と言いつつ、5つどころではなかったですね…。

そして、大人にとっても、次のようなメリットがあります。

【大人にとっての5つのメリット】

1、ハードルが低い

これは、個人差があるかもしれませんが、私がママ・パパたちのお話を聞く限り、一から英文を組み立てて話すよりも、歌を覚えて歌う方が、ハードルが低いとおっしゃる方は多いです。

また、絵本の読み聞かせと比べても、歌はリズムに乗って自然と口から英語を発することができるけれど、絵本はどう読んだらいいかわからない、意気込まないと読めない、とおっしゃるママ・パパが多いです。

私自身も、歌が好きということもあり、子供たちの反応が良いということもあり、やはり、歌が一番取り組みやすいように思います。

2、絵本の読み聞かせも上手になる

子供にとってのメリットの2とも少し重なりますが、歌を通じて英語のリズムが自然に身につくと、メロディがなくても、英文を見た時に、どのようなリズムで読んだら良いかがだんだんわかるようになります。

そして、読み方がわかれば、読むのが楽しくなりますし、楽しく読んでいけば、ますます読み聞かせが上手になる、という好循環に入ることが出来ます。

3、やり直し英語にも効果的

歌を通じて英語のリズムが身につくと、まず、英語を聞き取るリスニングの力が確実にアップします。

そして、英語が聞き取れば、それを真似して発音することもできるようになり、自信を持って話すことにもつながります。

さらに、ただ目で見ただけ、耳で聞くだけではなく、歌や音読のように、口や顔の動き、体の動きを伴って学ぶことは、英検や TOEIC のような、試験のスコアアップにも役立つという研究結果もあります。

このように、歌は、ママ・パパ自身のやり直し英語にも効果的なのです。

4、送り迎えの負担もなく気軽に続けられる

例えば、英語リトミックや、英語教室なども、もちろん良いと思いますが、それなりにお金もかかりますし、何より送り迎えが結構大変だったりしますよね。

その点、歌いかけは、おうちで歌を聞いて、子供と一緒に歌うだけで、より気軽に組み合わせて、続けやすいのではないのでしょうか。

ちなみに、ママやパパの声は、子供をとてもしリラックスさせるので、脳内ではアルファ波が出て、右脳が活性化し、**学習効果もすごく高くなる**んです。

なので、何か知育の取り組みなどをする前には、親子で歌を1曲歌うようにすると、吸収の仕方が変わってきますよ。

5、美容や健康にも良い

子供にとってのメリットのところでもお話ししましたが、歌うことによって、酸素をたくさん取り入れることになるので、**血流が良くなり、脳や体中への酸素の流れも良くなります**。

その結果、**認知症の予防や、お肌を若く保つ**ことなどにもつながっていきます。

また、口や顔の筋肉も鍛えられることから、**シワを防いだり、素敵な笑顔ができるようになる**、なんて効果もあるんですよ。

【親子と一緒に歌えば、EQが10倍アップする! ?】

以上のように、英語を身につけるという点だけでなく、様々な効果のある「歌」ですが、EQ（心の知能指数）という点に着目しても、実は、ものすごく大きな効果があるんです。

筑波大学の安梅勅江（あんめときえ）教授の研究によりますと、**幼児期に親子と一緒に歌を歌うと、社会能力の発達が、2年後に10倍近く高くなる**と言われています。

社会能力というのは、主体性とか、共感力とか、行動や感情をコントロールする力といった、社会でうまくやっていくために必要な力（まさにEQ そのもの）です。

逆に、幼児期に親子で一緒に歌う機会が乏しいと、子供が小学生になって、「イライラする」「あまり頑張れない」と感じる割合が1.3倍、「誰かに怒りをぶつきたい」と感じる割合が6倍近く高くなるそうです。

つまり、「**幼児期のうちに子供とどのように関わったか**」が、後々、**小学生になってからの心や体の状態に影響を及ぼす**のです。

たかが「歌」、されど「歌」。

ぜひ今日から一緒に実践していきましょう。